

ある町の天気相談所

Vol.25
2020.1.6

令和2年1月号



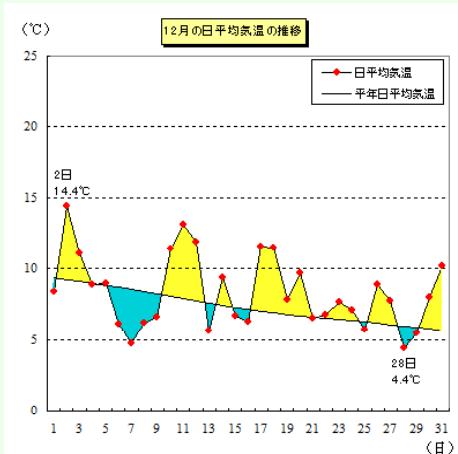
初日の出

令和2年1月1日は快晴の天気でした。水平線の付近には寒気による雲があり、雲の上からの初日の出となりました。7時の気温はマイナス0・7度と12月31日の朝より10度低い年明けでした。



1ヶ月予報（気象庁発表）

1月は、中旬にかけて、低気圧や前線の影響で、平年に比べて晴れの日が少ない予想です。平均気温は「高い」。降水量は「平年並みが多い」、日照時間は「平年並み少ない」予想です。



12月の気候

12月は、月平均気温が8・4度と平年より高くなりました。上旬は山沿いで雪が降る日があるなど平年並みでしたが、その後は平年より高い日が多くなりました。

月の最高気温は19・2度でしたが、18日と31日に観測しています。また、冬日を一日観測しました。月合計の降水量は43・5ミリとほぼ平年並み、日照時間は138・4時間と平年より少なくなりました。

天気相談所のあゆみ

天気相談所の1日（情報提供）
朝の観測、予報作業と並行し、情報提供の作業も行います。観測終了後から、観測結果の水戸地方気象台への通報、消防本部への、火災予防のための気象情報、Facebook、Twitter、スマートフォン向け日立市公式地域情報アプリの「ひたちナビ」、ケーブルテレビへのL字放送向けの作業を随時行います。また、牛活安全課へ、警報が出るような気象状況が予想されるかどうか、定時の連絡もしています。

ここまでの一連の作業で、朝の予報作業が終了します。10時になると、週間予報のデータが、13時になると、午後予報のデータが入ってくるため、随時、資料の確認もおこないますが、次の予報作業までの時間を使い、資料の確認やまとめ、出前講座の資料作成、市報や「ある町の天気相談所」の原稿作成、その他の様々な事務作業を行っています。なお、台風などの、災害対応を行わなくてはならないときは、この時間を使い、会議資料等の作成も行っています。

天気用語の基礎知識

気温の言葉5

最低気温が0度を下回った日のことを「冬日」といいます。市役所では12月14日頃から3月23日頃に現れ、年間で43日ほどあります。その年の冬日の初日が最も早い記録は、11月26日（2010年）。最も遅く冬日を観測した日は、4月14日（1987年）でした。最も冬日が多かった年は79日（1984年）あり、逆に少なかつた年は22日（2016年）しかありませんでした。

12月は、関東の南に弱い低気圧や前線が発生することが多く、実況と天気予報が異なってしまうことが多く、御迷惑をおかけしました。

精度がよくなっている数値予報ですが、予測のデータが大きく変わってしまうケースもあり、まだまだ自然を理解できていないことも多くあるのだなあと実感しました。ただ、

数値予報を読み解いているのは自分自身ですので、読み取れていない部分があつたり、予報の表現にもつと工夫ができたのではないかと、反省していた年末年始でした。

年末の強風は時間の予想はよくても、強さは・・・勉強します。